

豊鉄新聞

発行者 小宮 亮太
 行 井ノ口 賀良
 根 羽根 芳
 羽 5年

市電を使って始めよう エコモビリティライフ

豊橋のシンボル市電

豊橋には豊橋駅

から市内を走っている路面電車、市電があります。市電は大正十四年に開業し、八十年間以上走り続けています。豊橋駅から約400メートルおきに駅が設置されています。駅の周りには公園や球場、博物館などの施設があり、市電を使えばとても便利です。線路には、日本一きついカーブもあります。

運賃【均一料金】

大人	150円
子ども	80円



T1000形

今、走っている電車の中で最新の車両は、全面低床車両T1000形です。

この車両はバリアフリー化されているので、お年よりのかたは

電車あれこれ

これまで走ってきた電車の中で一番、古い車両は3100形です。今



ちにも利用しやすくなっています。それから省エネ、省保で化されている環境にやさしくなっています。さらに純国産初の百パーセント全面低床化の実現が大きく評価され、「ローレル賞」を受賞しました。



3500形は東

京都交通局からゆかりを受けた車両で、乗車時にチンチンとベルがなります。



チンチン電車

この他に、800形の車両が走っており、中には広告が描かれている車両もあります。

登場

往復1時間 飲み放題



取材を終えて

3100形のついた時かなり経って、あるのぼるのに苦労しました。だからT1000形のように低床の車両ならばのりがかんたんで良いと思いました。そして車を使わずに市電を使うことで二酸化炭素の排出をおさえられます。地球の環境を守るために、市電を上手に使って出かけをしよう心に掛けて、エコモビリティライフを始めたいと思います。

豊橋鉄道のみならず、皆さんにお世話になりました。